

## 和田浜工業団地整備事業について

### 1 和田浜工業団地経緯

和田浜工業団地は、昭和48年3月に既存の工場が集積していた地域とその周辺（約42ha）を、都市計画決定により工業専用地域として用途指定した。本工業団地は、事業所の進出状況に合わせてインフラを整備し、事業所が立地してきた経過がある。

しかし、現状として、事業所立地の進んでいない区域（境港市側）が約7ha残っていることから、企業立地の促進が懸案事項となっていた。このような中、このたび木質バイオマス発電所を建設する計画が本市に示された。

### 2 和田浜工業団地への木質バイオマス発電所の建設計画

この計画は平成29年3月にシンエネルギー開発株式会社が経済産業省資源エネルギー庁の「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」(FIT)の認定を受けたことに基づいた事業計画である。

- ・事業主体 米子新エネルギー開発株式会社（仮）※新設予定
- ・発電形態 ボイラーの発生蒸気を用いた汽力発電（水冷式）
- ・出力 発電出力50メガワット（50,000kw）
- ・発電量 年間で一般家庭の約11万世帯使用分に相当。
- ・燃料 輸入バイオマス（ヤシ核殻、木質ペレット）等※境港利用
- ・敷地面積 プラント2haとヤード（燃料資材置場）2～3ha
- ・設備投資額 240億円（簡易想定）
- ・雇用創出 直接雇用10～20名、間接雇用20～30名
- ・建設予定地 別添図のとおり

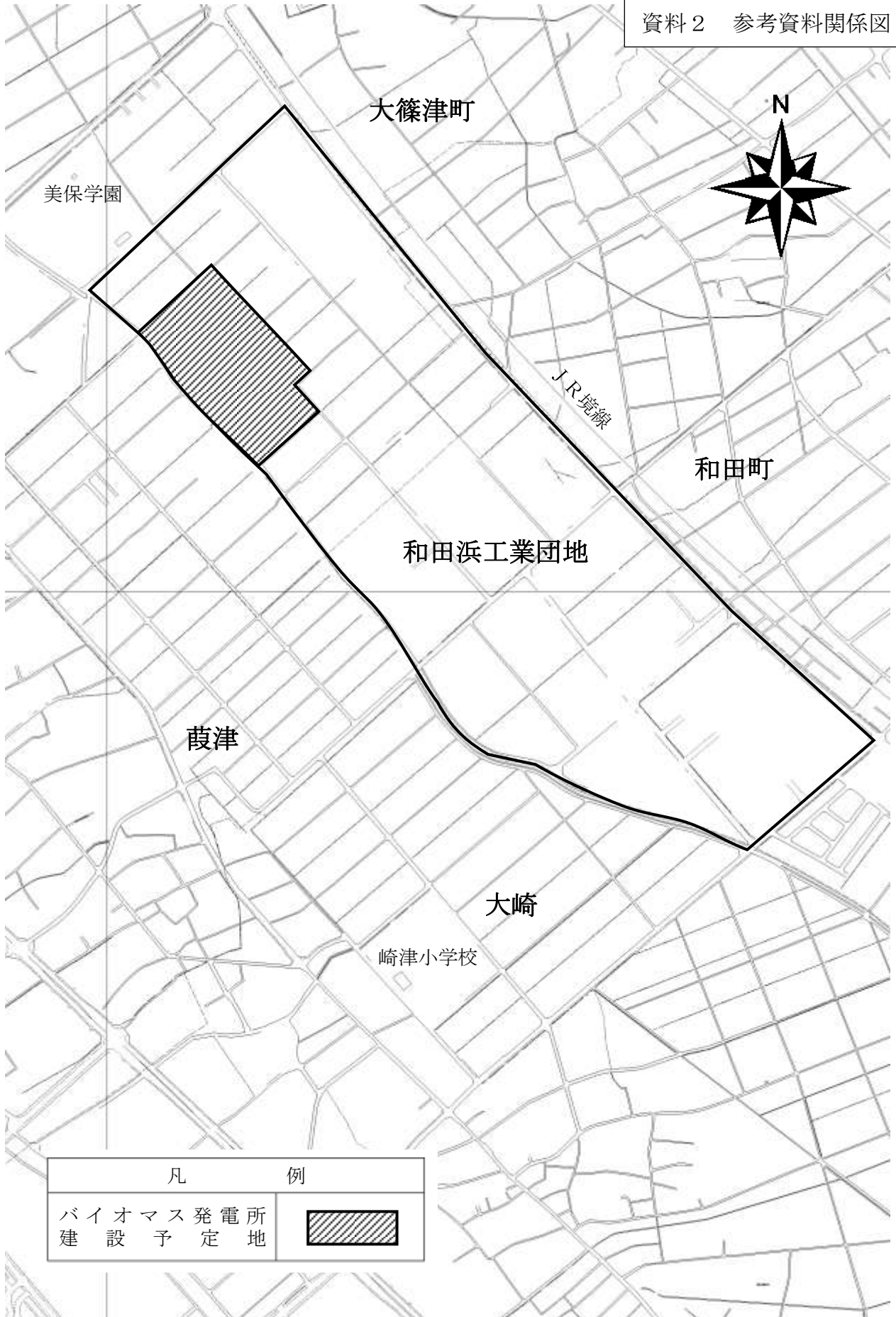
### 3 整備目的

本事業計画は、長年事業所の立地がなく、インフラ等の整備がなされていない和田浜工業団地の未整備区域を解消できるとともに、発電所建設及び操業後の管理運営に伴う地元企業への受発注や新規雇用が見込まれ、地域経済の活性化を図ることができるものである。

### 4 整備の内容等

木質バイオマス発電所の進出を支援するため、特別会計を設置し用地買収、粗造成を行い、事業者に一括売却する。

これに伴い9月議会にて今年度必要な測量委託費、用地買収委託費について予算案を上程する。平成30年度には、用地取得等の手続きを経て、発電所用地造成工事（粗造成）を完了する予定としている。



凡	例
バイオマス発電所 建設予定地	